

平成20年3月期(第70期)

# 決算説明会

日本プラスチック株式会社

<http://www.n-plast.co.jp/>

平成20年5月15日

# 目次

㊤ 日本プラスト株式会社

## '08 / 3期実績及び

### '09 / 3期見通し

#### 1. '08 / 3期 決算概要

- (1) 総括
- (2) 概要
- (3) セグメント情報
- (4) 製品別売上高
- (5) 得意先別売上高
- (6) 営業利益増減
- (7) B / S 主要増減
- (8) キャッシュフロー増減

#### 2. '09 / 3期 業績見通し

- (1) 総括
- (2) 概要
- (3) セグメント情報
- (4) 製品別売上高
- (5) 得意先別売上高
- (6) 営業利益増減
- (7) 設備投資と減価償却費

## 中期計画の進捗状況と今後の展望

#### 1. 長期ビジョン

#### 2. 中期計画の進捗状況と今後の展望

- (1) 経営の基本方針
- (2) これまでの取り組み
- (3) 業績推移('00 ~ '07)
- (4) '07 ~ '09 中期収益計画の進捗
- (5) 商品開発戦略(最近の開発商品)

'08 / 3期 実績及び  
'09 / 3期見通し

# 1 . ' 0 8 / 3 期 決算概要

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
'08 / 3期実績	105,719	3,283	2,931	1,993
対前年比伸率	7.6%	11.3%	2.4%	7.9%

売上高は初の1,000億円台となり、6期連続の増収

営業利益は中国の業績続伸とタイの単年度黒字化により

北米地域の減益をかば - し、過去最高益

## (2)'08 / 3期 概要

(単位:百万円)

	'07 / 3期		'08 / 3期		対前年比	
					増減	伸率
売上高	98,278	100.0%	105,719	100.0%	7,441	7.6 %
売上原価	89,277	90.8%	96,163	91.0%	6,886	7.7 %
売上総利益	9,001	9.2%	9,556	9.0%	555	6.2 %
販売費及び一般管理費	6,051	6.2%	6,273	5.9%	222	3.7 %
営業利益	2,950	3.0%	3,283	3.1%	333	11.3 %
経常利益	3,003	3.1%	2,931	2.8%	72	2.4 %
当期純利益	2,165	2.2%	1,993	1.9%	172	7.9 %
一株当り当期純利益	121.22円		115.83円		5.39円	4.4 %

設備投資額	7,089	8,281	1,192	16.8 %
減価償却費	4,322	5,148	826	19.1 %

US \$ 換算レ - ト	注1) 119.12円	注2) 117.70円	1.42円	1.2 %
---------------	-------------	-------------	-------	-------

注1) 06年12月末レート

注2) 07年1~12月平均レート

# (3)'08 / 3期 セグメント情報

## 地域別売上高

(単位:百万円)

	'07 / 3 期	'08 / 3 期	対前年比	
			増減	伸率
			日本国内	51,446
北米	42,702	41,540	1,162	2.7 %
その他地域	4,130	6,167	2,037	49.3 %
連結売上高	98,278	105,719	7,441	7.6 %

## 地域別営業利益

(単位:百万円)

	'07 / 3 期	'08 / 3 期	対前年比	
			増減	伸率
			日本国内	770
北米	1,553	1,018	535	34.4 %
その他地域	628	1,418	790	125.8 %
消去	1	12	11	
連結営業利益	2,950	3,283	333	11.3 %

### < 日本国内 >

- ・売上高は、カーテンエアバッグ増産を中心に増収
- ・利益面では、税制改正に伴う減価償却費・労務費増があるものの、増収効果により増益

### < 北米地域 >

- ・売上高は、メキシコのエアバッグ増産により増収となるものの、米国拠点の樹脂部品の受注減により減収
- ・利益面では、米国拠点の減収影響が大きく減益

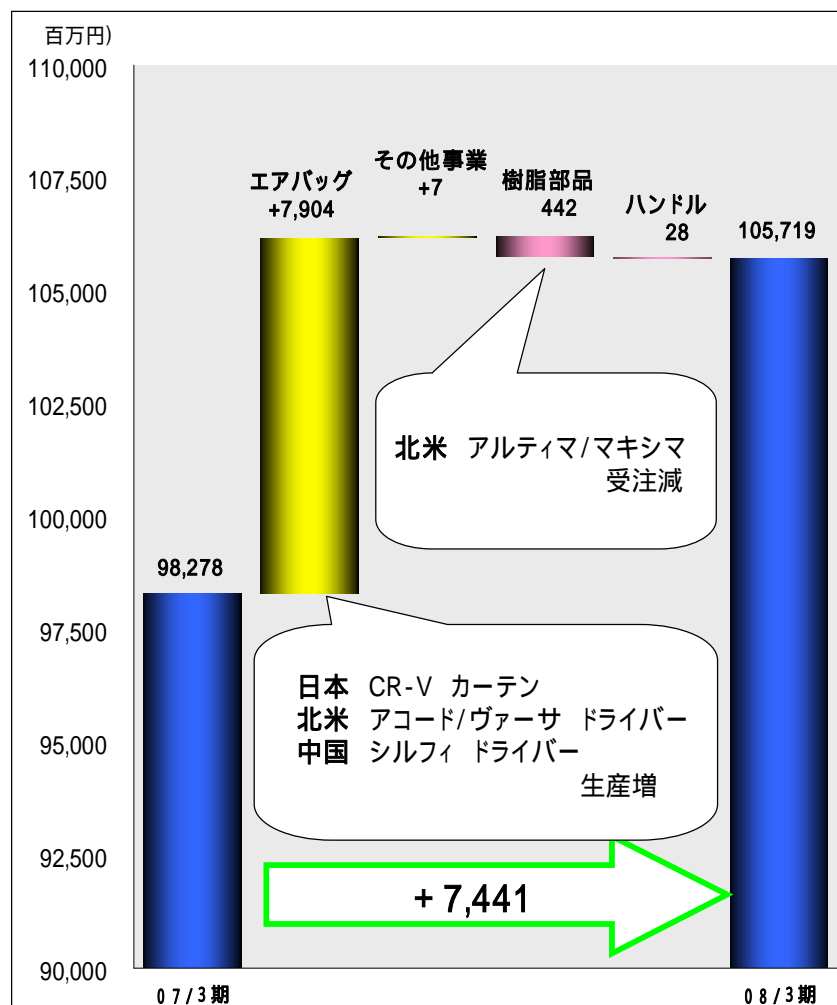
### < その他地域 >

- ・売上高は、中国での新車立上げによる増産効果により増収
- ・利益面では、中国及びタイ子会社の好業績により増益

# (4)'08/3期 製品別売上高

(単位:百万円)

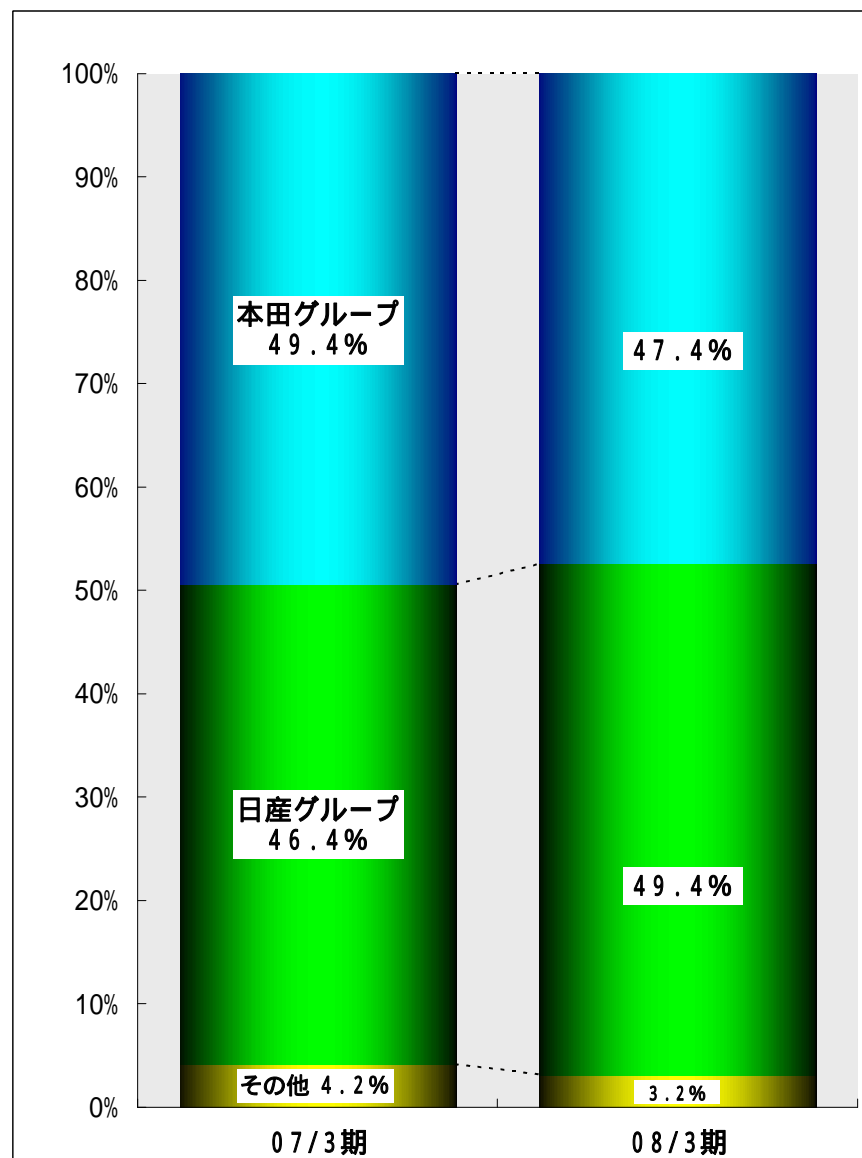
	'07/3期	'08/3期	対前年比	
			増減	伸率
ハンドル	17,354 (20.0%)	17,326 (16.4%)	28	0.2%
エアバッグ	36,145 (30.6%)	44,049 (41.6%)	7,904	21.9%
樹脂部品	44,704 (49.3%)	44,262 (41.9%)	442	1.0%
その他	75 (0.1%)	82 (0.1%)	7	9.3%
連結売上高	98,278	105,719	7,441	7.6%



# (5)'08 / 3期 得意先別売上高

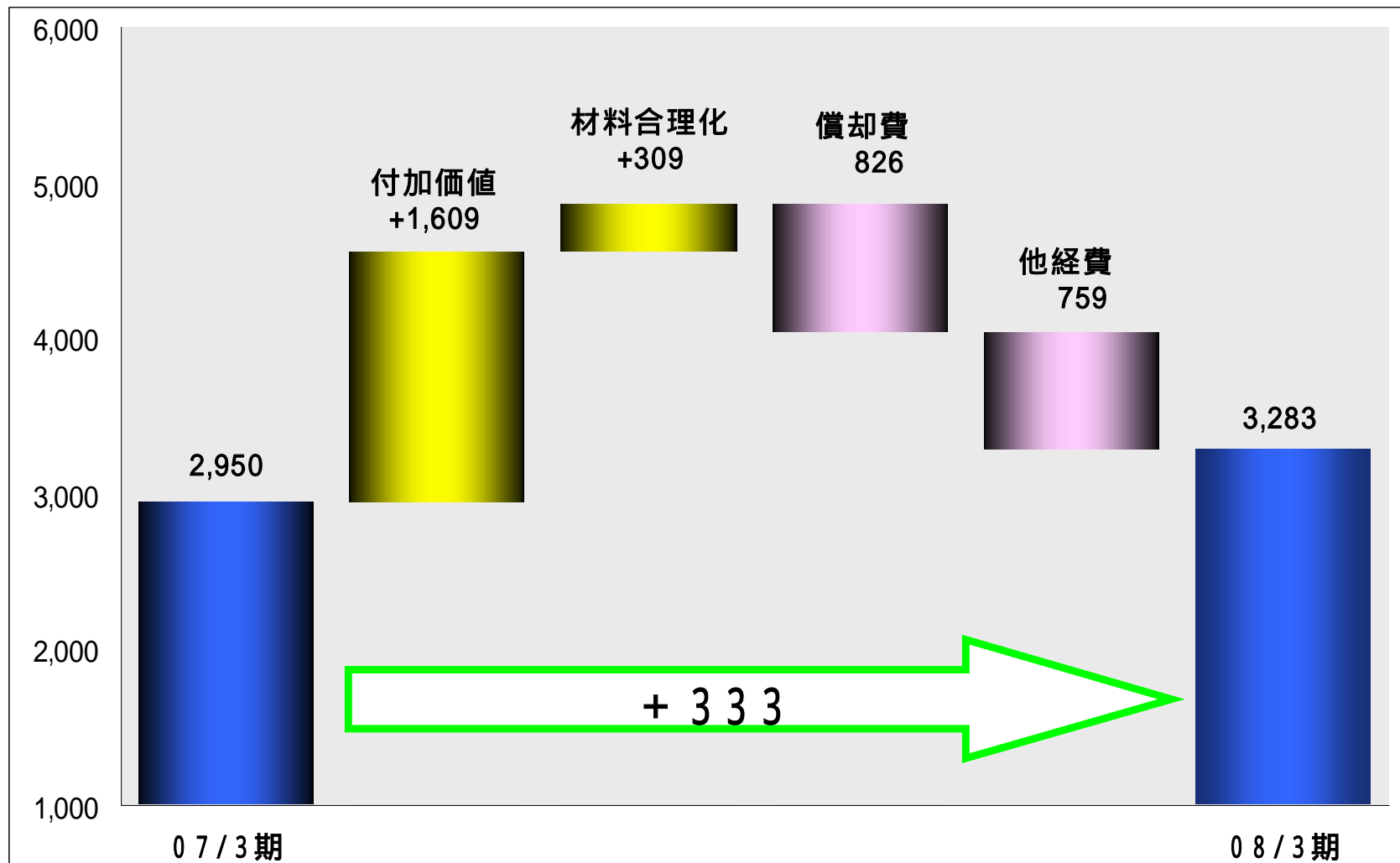
(単位:百万円)

	'07 / 3 期	'08 / 3 期	対前年比	
			増減	伸率
本田グループ	48,595	50,113	1,518	3.1 %
日産グループ	45,567	52,224	6,657	14.6 %
その他	4,116	3,382	734	17.8 %
連結売上高	98,278	105,719	7,441	7.6 %



# (6)'08 / 3期 営業利益増減

(百万円)



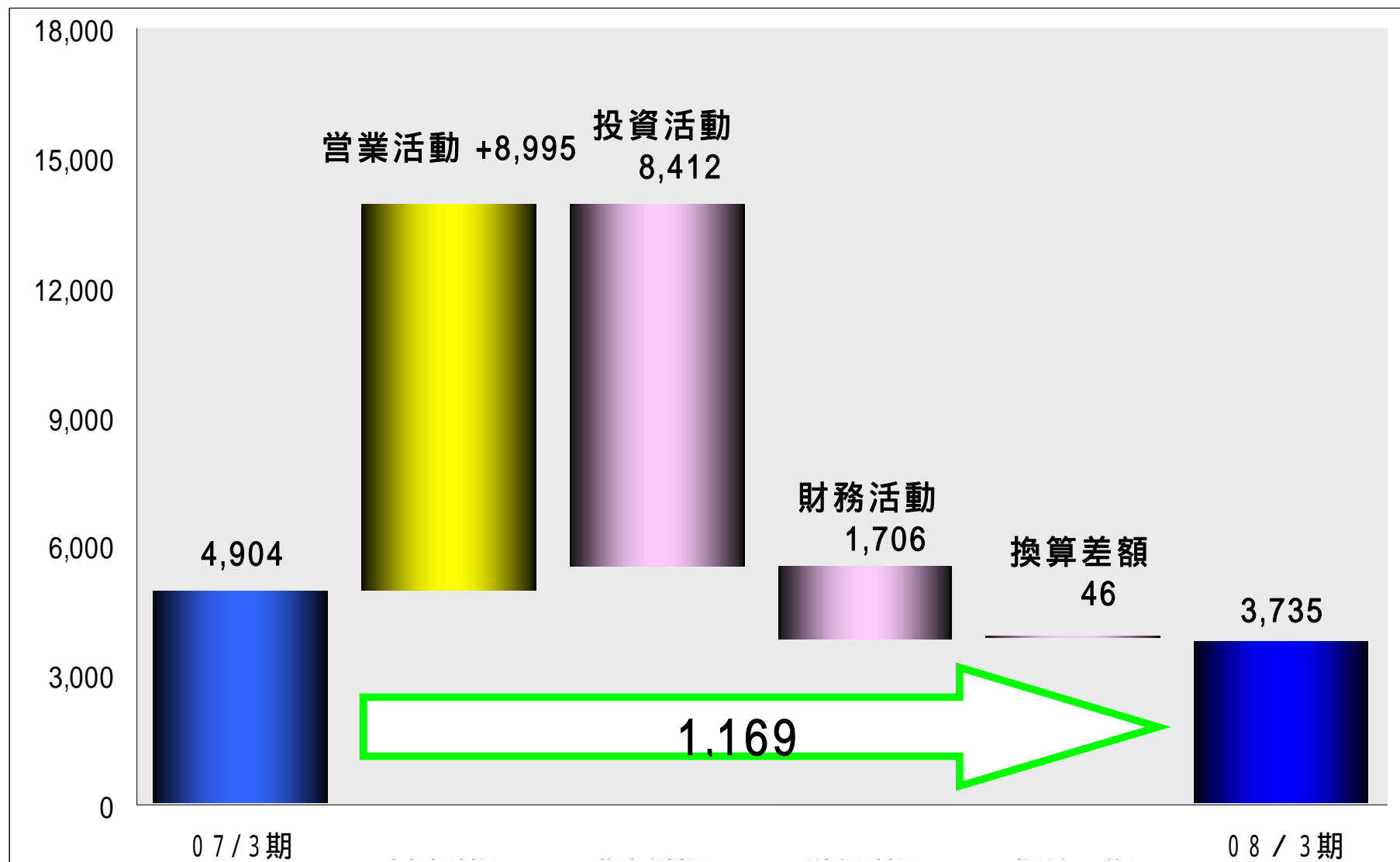
# (7)'08/3期 B/S主要増減

(単位:百万円)

	'07/3末	'08/3末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	30,561	29,544	1,017	・現預金 1,249 ・繰延税金資産 598 ・受取手形・売掛金 + 395
固定資産	30,471	32,483	2,012	・有形固定資産 + 2,418
資産合計	61,032	62,027	995	

	'07/3末	'08/3末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	28,717	29,166	449	・支払手形・買掛金 + 2,076 ・短期借入金 863 ・関係会社整理損失引当金 404
固定負債	10,129	9,371	758	・長期借入金 723
純資産	22,186	23,490	1,304	
負債、少数株主持分 及び資本合計	61,032	62,027	995	

# (8)'08 / 3期 キャッシュフロー増減



# 2 . ' 0 9 / 3 期 業績見通し

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
'09 / 3期見通し	107,000	2,700	2,650	1,750
対前年比伸率	1.2%	17.8%	9.6%	12.2%

売上高は、為替換算影響はあるものの、ステアリング及びエア  
バッグ増により増収を予想

営業利益は、中国の増益基調が続くものの、償却費増にて減益  
を予想

## (2)'09 / 3期見通し 概要


 日本プラスト株式会社

(単位:百万円)

	'08 / 3期		'09 / 3期(予)		対前年比	
					増減	伸率
	売上高	105,719	100.0%	107,000	100.0%	1,281
売上原価	96,163	91.0%	98,100	91.7%	1,937	2.0 %
売上総利益	9,556	9.0%	8,900	8.3%	656	6.9 %
販売費及び一般管理費	6,273	5.9%	6,200	5.8%	73	1.2 %
営業利益	3,283	3.1%	2,700	2.5%	583	17.8 %
経常利益	2,931	2.8%	2,650	2.5%	281	9.6 %
当期純利益	1,993	1.9%	1,750	1.6%	243	12.2 %
一株当り当期純利益	115.83円		101.69円		14.14円	12.2 %
設備投資額	8,281		5,636		2,645	31.9 %
減価償却費	5,148		5,951		803	15.6 %
US \$ 期末換算レ - ト	117.70円		105.00円		12.70円	10.8 %

### (3)'09 / 3期見通し セグメント情報

地域別売上高

(単位:百万円)

	'08 / 3期	'09 / 3期(予)	対前年比	
			増減	伸率
日本国内	58,012	58,484	472	0.8 %
北米	41,540	39,067	2,473	6.0 %
その他地域	6,167	9,449	3,282	53.2 %
連結売上高	105,719	107,000	1,281	1.2 %

#### <日本国内>

- ・売上高は横這いを予想
- ・利益面では、減価償却費・労務費増により減益を予想

地域別営業利益

(単位:百万円)

	'08 / 3期	'09 / 3期(予)	対前年比	
			増減	伸率
日本国内	859	390	469	54.6 %
北米	1,018	371	647	63.6 %
その他地域	1,418	1,902	484	34.1 %
消去	12	37	49	
連営業利益	3,283	2,700	583	17.8 %

#### <北米地域>

- ・売上高は、新車立上りにより実質増収ながら、為替換算影響により減収を予想
- ・利益面では、生産移管に伴うコスト増、原材料費の高騰及び減価償却費・開発費負担増により減益を予想

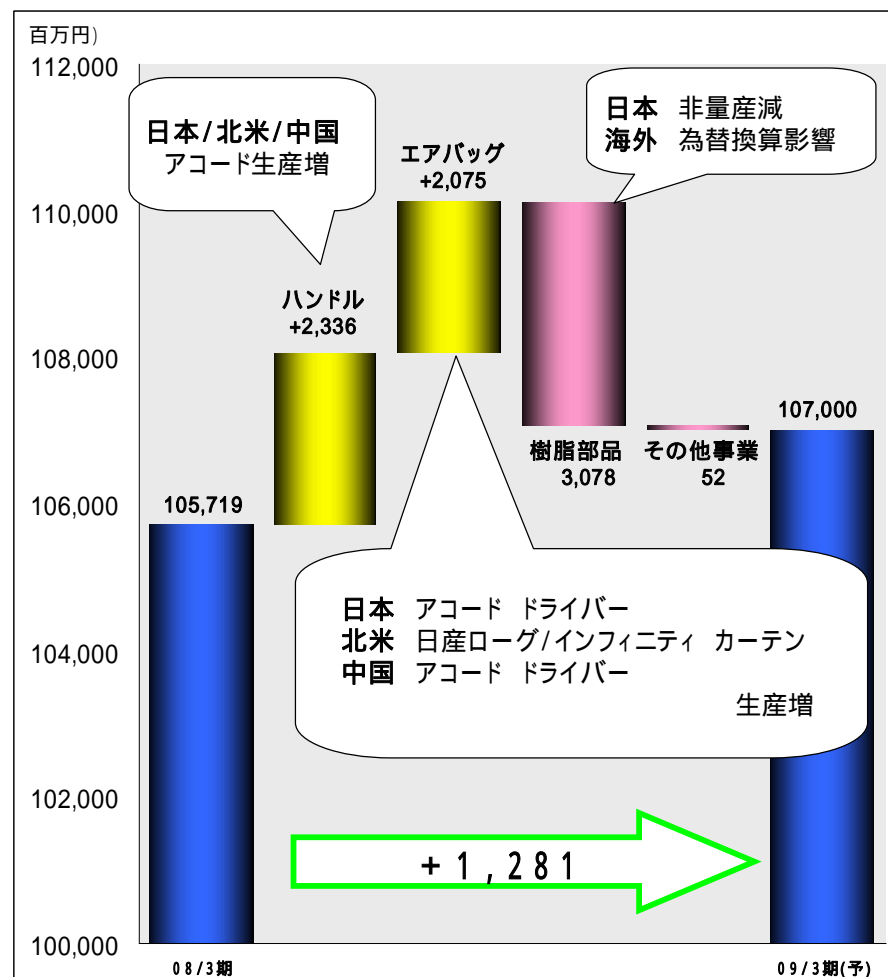
#### <その他地域>

- ・引き続き好調な中国子会社に牽引され増収、増益を予想
- ・タイ子会社は稼働3年目で累損解消の見通し

# (4) '09 / 3期見通し 製品別売上高

(単位:百万円)

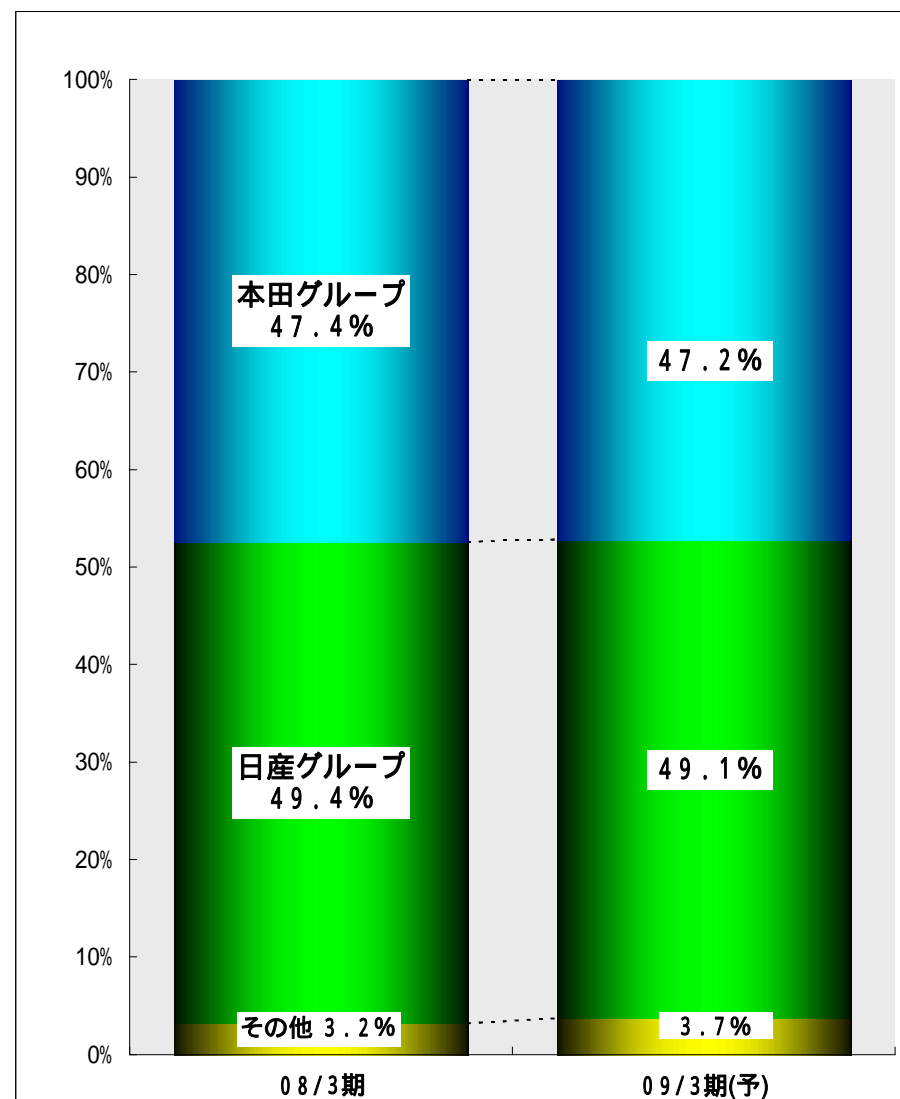
	'08 / 3期	'09 / 3期 (予)	対前年比	
			増減	伸率
ハンドル	17,326 ( 16.4 %)	19,662 ( 18.4 %)	2,336	13.5 %
エアバッグ	44,049 ( 41.6 %)	46,124 ( 43.1 %)	2,075	4.7 %
樹脂部品	44,262 ( 41.9 %)	41,184 ( 38.5 %)	3,078	7.0 %
その他	82 ( 0.1 %)	30 ( 0.0 %)	52	63.4 %
連結売上高	105,719	107,000	1,281	1.2 %



# (5)'09 / 3期見通し 得意先別売上高

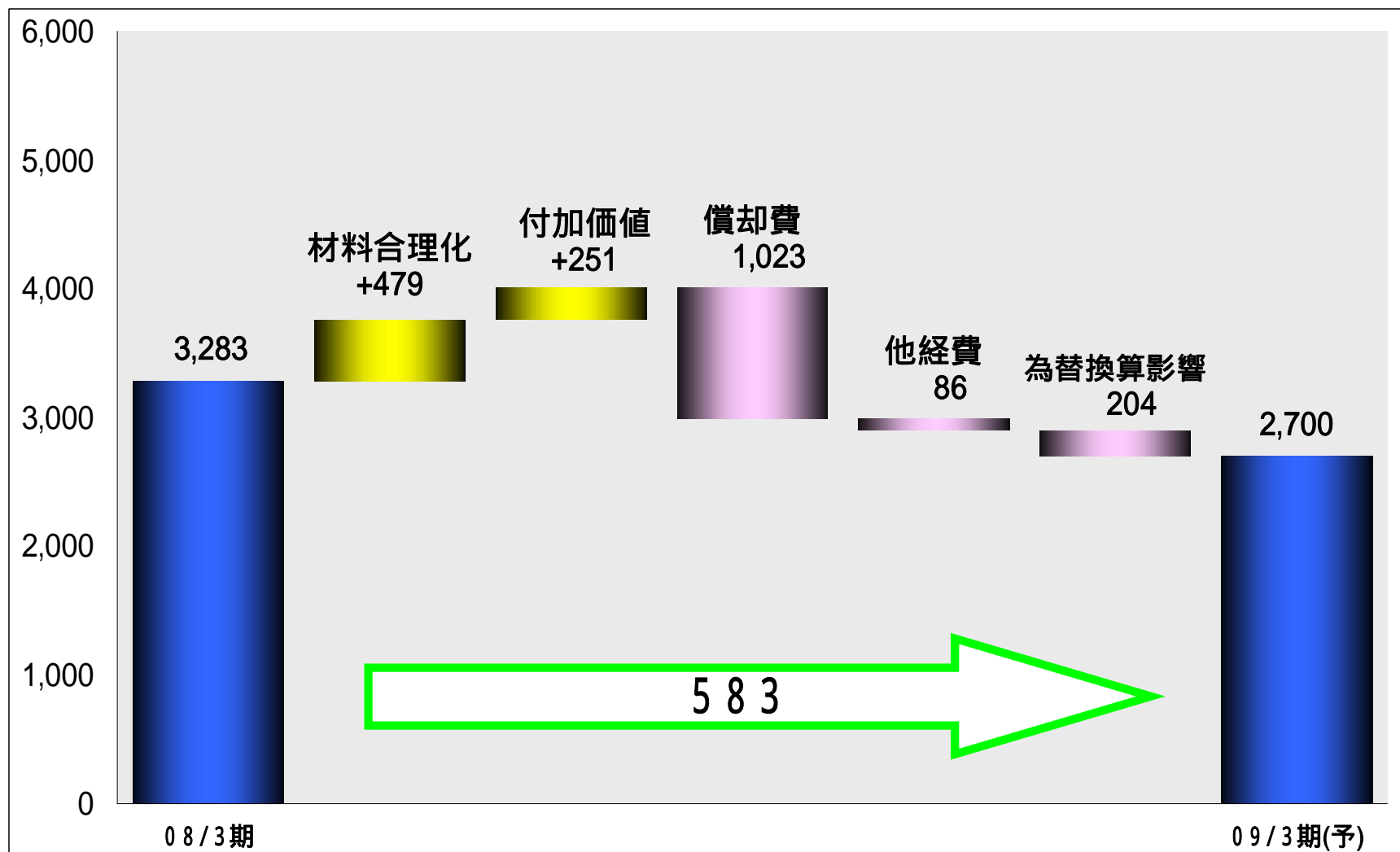
(単位:百万円)

	'08 / 3期	'09 / 3期 (予)	対前年比	
			増減	伸率
本田グループ	50,113	50,488	375	0.7 %
日産グループ	52,224	52,538	314	0.6 %
その他	3,382	3,974	592	17.5 %
連結売上高	105,719	107,000	1,281	1.2 %



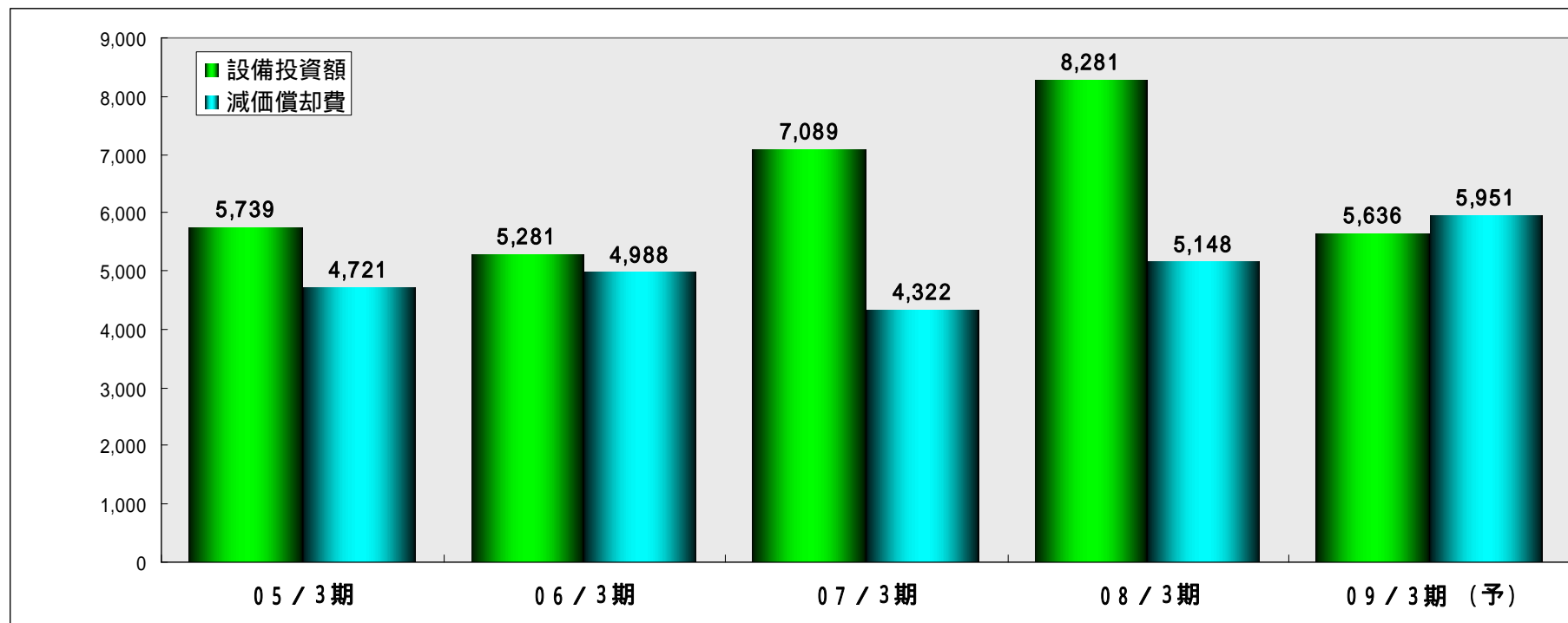
# (6) '09 / 3期見通し 営業利益増減

(百万円)



# (7)'09 / 3期見通し 設備投資と減価償却費 ㊤ 日本プラスト株式会社

(百万円)



	05 / 3期	06 / 3期	07 / 3期	08 / 3期	09 / 3期 (予)
投資の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金型</li> <li>・ハイブリッド成形機 (伊勢崎)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金型</li> <li>・第二テクニカルセンター(富士宮)</li> <li>・成形機更新</li> <li>・タイ工場建設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金型</li> <li>・工場建屋増築</li> <li>・Mg 鋳造設備</li> <li>・A / B 生産設備</li> <li>・成形機更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金型</li> <li>・A / B 生産設備</li> <li>・成形機更新</li> <li>・工場建屋増築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金型</li> <li>・工場建屋増築</li> <li>・成形機更新</li> <li>・A / B 生産設備</li> <li>・STRG 生産設備</li> </ul>

# ・ 中期計画の進捗状況と 今後の展望

# 1. 長期ビジョン

グローバルでの自動車部品市場において、安全部品と樹脂部品のシステムインテグレ-タ-として、不動の地位を築く

## 収益目標

10年後を目処に

売上高 1,800 億円

経常利益率 5%

車の安全と快適性を追求した人と環境に優しい  
魅力ある商品の創造

### 安全部品

ステアリングホイールとエアバックモジュールの乗員保護性能の向上により、車の安全技術の進化に寄与する先進商品の提案

### 樹脂部品

内装樹脂部品と安全機能部品の今後のトレンドを採り込んだ融合商品の提案

欧州

北米

日本

中国

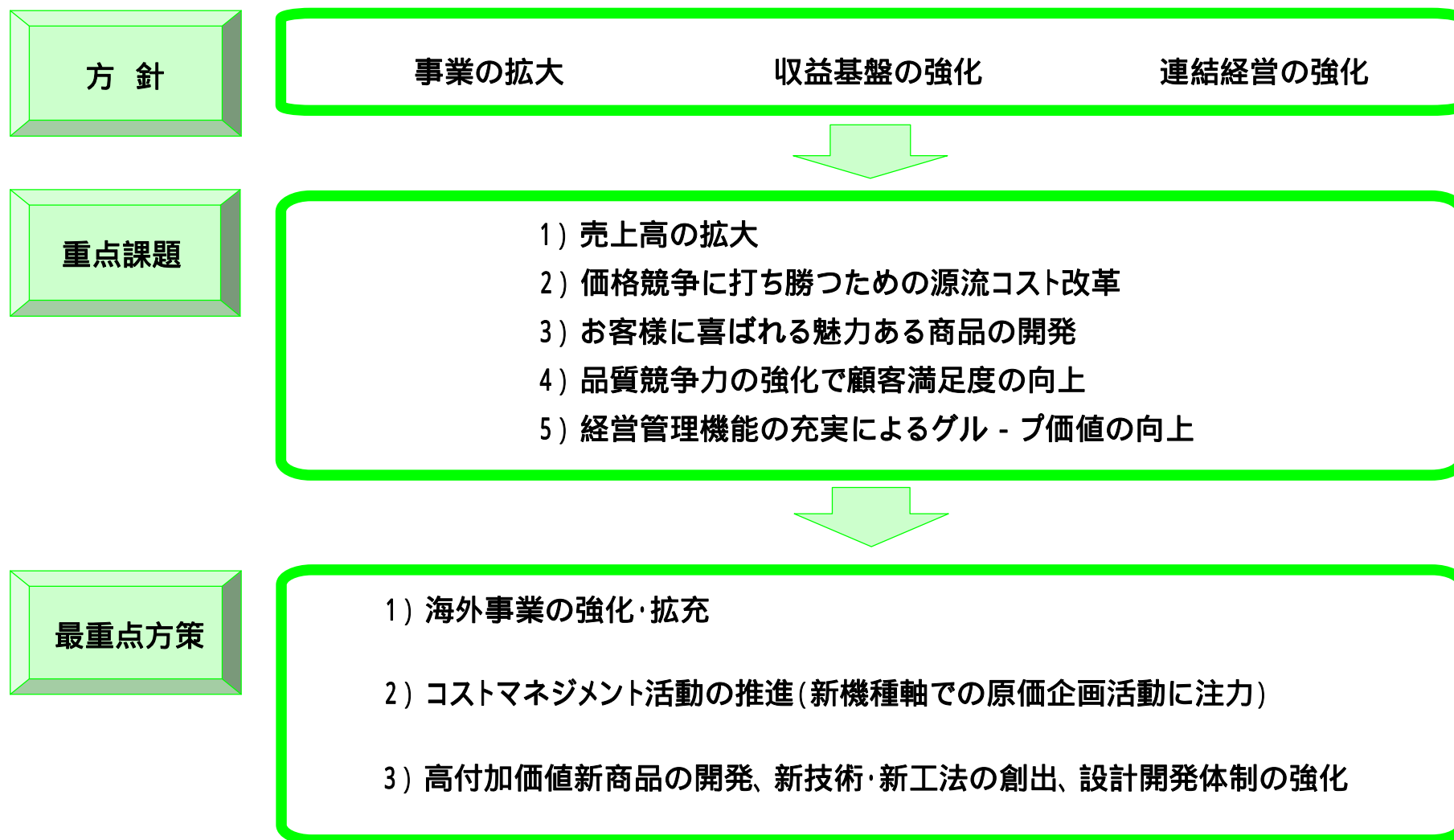
アジア

世界5極事業体制

## 2. 中期計画の進捗状況と今後の展望

### (1) 経営の基本方針

～ 長期ビジョンの見直しに伴い、経営目標の達成に向けた第一中期と位置づける ～



(2) これまでの取り組み

	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07 (H20/3期)
資本・取引関係他	ホンダ						
	'05年7月資本参加(20.6%)						
	日産(2000年:NRPの一環にて当社株式放出 / 2005年:日産株式売却)						
	スズキ(エスク - ド安全部品受注)						
	トヨタ(北米アパロンのトリム部品受注)						
				タカタとの 訴訟和解	N社株式売却	子会社(日本化研)が豊合よりカロ - ラ向け樹脂部品を受注	DMとの資本提携解消 / 自己株取得

東証2部上場

対処すべき課題 → 得意先の海外生産拡大 / エアバッグ受注増 / 収益改善に向けた地域別最適生産体制の構築 / 設計開発力の強化

これまでの取り組み経過と現状	地域別生産体制の強化・拡充	国内	富士地区						エアバッグモジュール増産対応投資 (受注増)	
			伊勢崎地区						工場増改築・大型射出成形機増強投資 (受注増)	
			九州地区						工場増改築・生産設備増強投資 (日産の九州生産シフト)	
		北米	NAPM(米国)							収益改善に向けた最適生産体制構築の投資 累損解消
			NRI(米国)						NAPM エアバッグ一部移管	
			NIPSA(メキシコ)						NAPM AS エアバッグ折移管	
			NIHON MAGNESIO (メキシコ)						NAPM Mg鑄造を一部移管	
				業績低迷期(赤字)			収支改善活動推進による業績回復期			設立('07/4) 生産開始
		アジア	CP(中国)			設立('03/2)	生産開始			増産対応投資('06~'07年度) 累損解消 生産開始 ~ 能力増強投資 ('07年度より、日系メ - カ - に新規受注)
			NPT(タイ)				設立('04/11)		半年黒字化 ('08累損解消見込み)	
NPI(インドネシア)										
欧州	YEC委託(英国)							CR-V カーテンエアバッグ生産開始 増量対応		
設計開発体制の強化						#2テクニカルセンター - 開設		油圧式衝突試験機稼動 #3テクニカルセンター - 開設		

< 設備投資額 >

< 70.9億円 >

< 82.8億円 >

### (2) これまでの取り組み・・・中国事業の現状

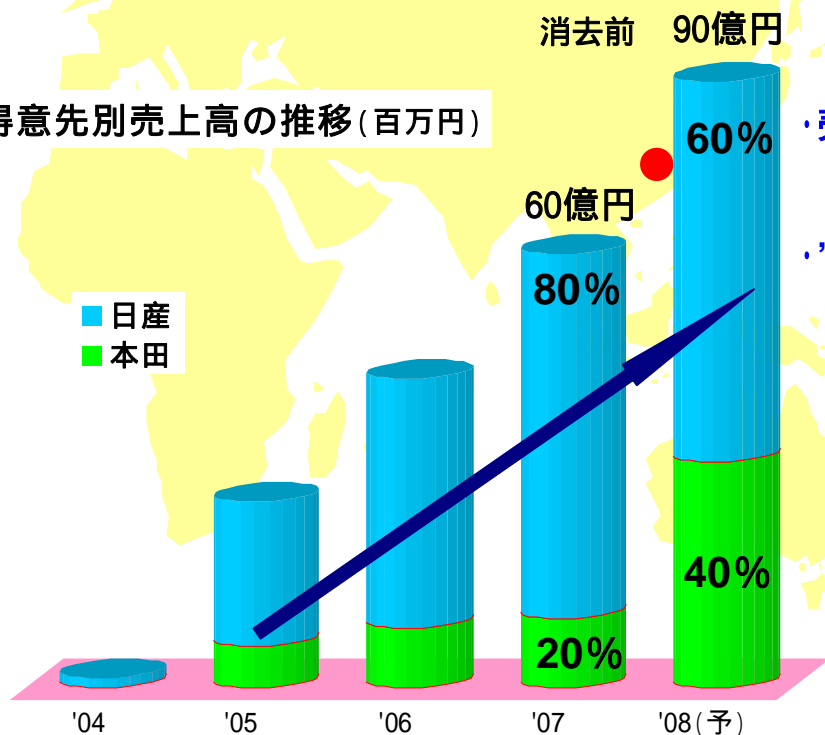
#### 会社概要:

- ・社名 : 中山富拉司特工業有限公司
- ・設立 : 2003年2月
- ・資本金 : 12億8千6百万円  
(出資比率: 92.07%)
- ・所在地 : 中華人民共和国広東省中山市

#### 生産品目:

- ・広州本田向け  
オデッセイ(ステアリングホイール、ドライバーA/B)  
アコード(ステアリングホイール、ドライバーA/B)
- ・東風日産向け  
ティアナ(ステアリングホイールドライバーA/B)  
ティーダ(ドライバーA/B、アシストA/Bベンチレーター)  
シルフィ-(ステアリングホイール、ドライバーA/B、カーテンA/B)  
ジェニス(ステアリングホイールドライバーA/B、アシストA/B)

得意先別売上高の推移(百万円)



#### 09 / 3期経営目標:

- ・売上高 90億円 経常利益率 15%以上

#### 得意先別売上高比率:

- ・'07年度 本田20% / 日産80%    '08年度 本田40% / 日産60%



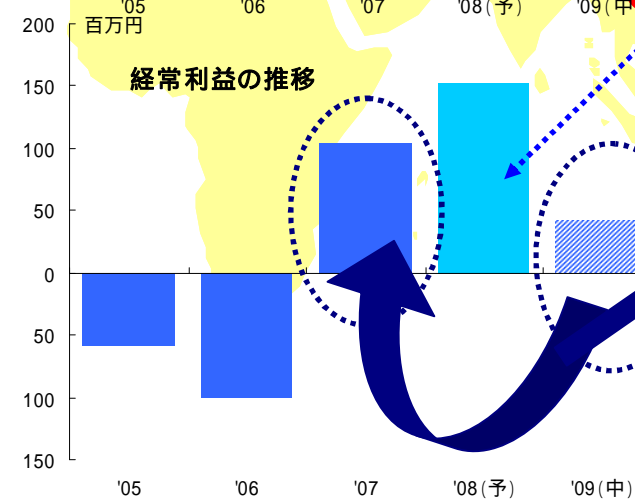
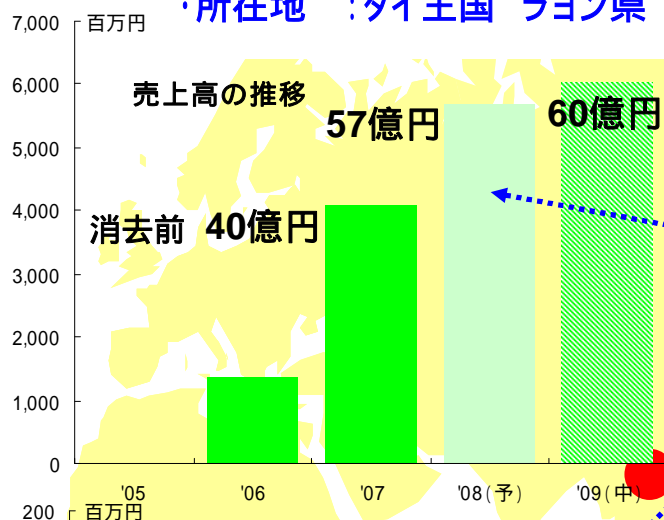
### (2) これまでの取り組み・・・タイ事業の現状

#### 会社概要

- ・社名 : ニホンプラストタイランド
- ・設立 : 2004年11月
- ・資本金 : 4億バーツ
- ・所在地 : タイ王国 ラヨン県

#### 生産品目:

- (日本向け輸出)
  - ・革巻きステアリングホイール
  - ・カーテンエアバッグ組立て
  - ・アシストエアバッグのバッグ折り
- (タイ国内向け販売)
  - ・ステアリングホイール、革巻きステアリングホイール
  - ・ドライバーエアバッグモジュール

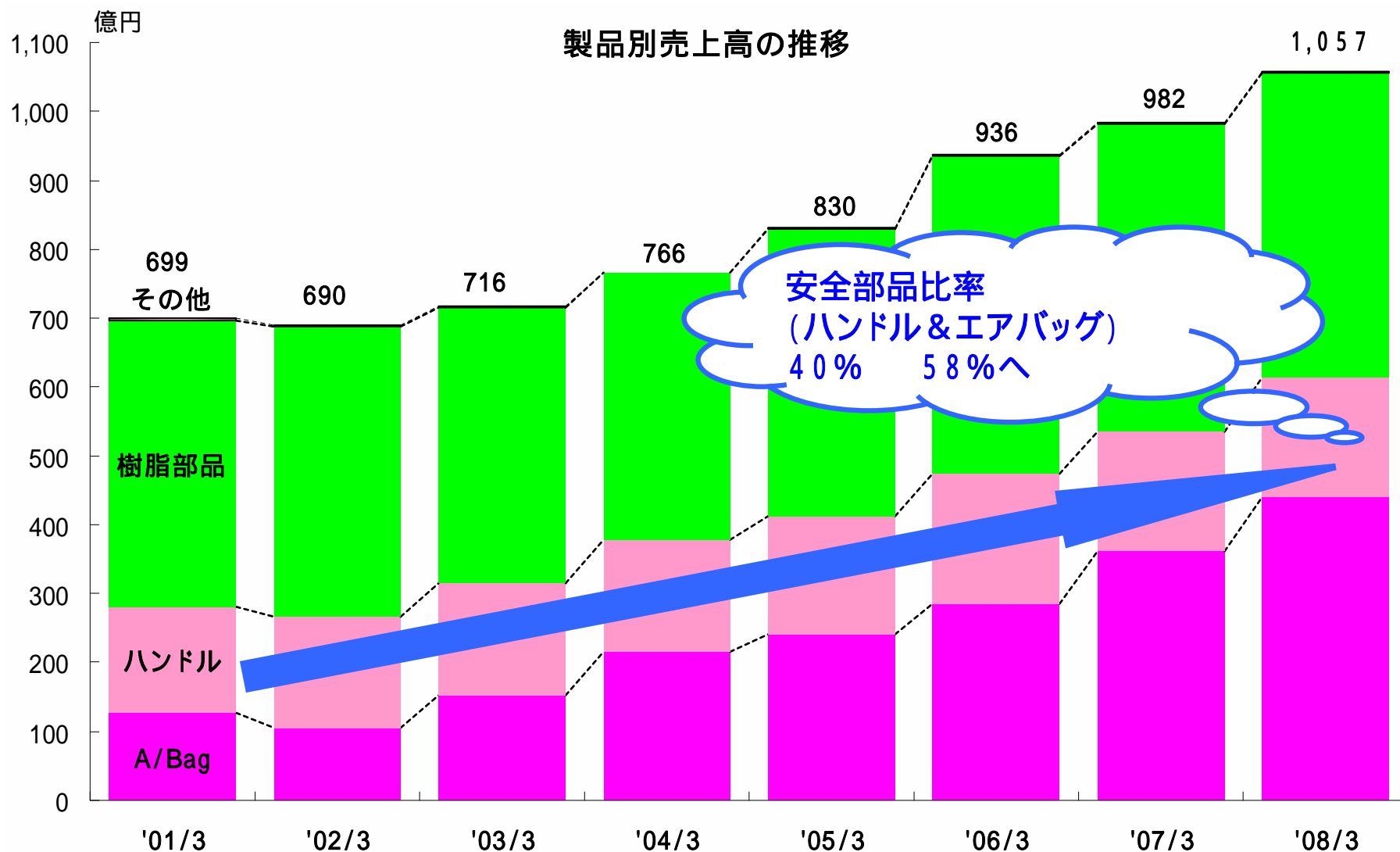


09 / 3月期経営目標:  
売上高 57億円 累損解消

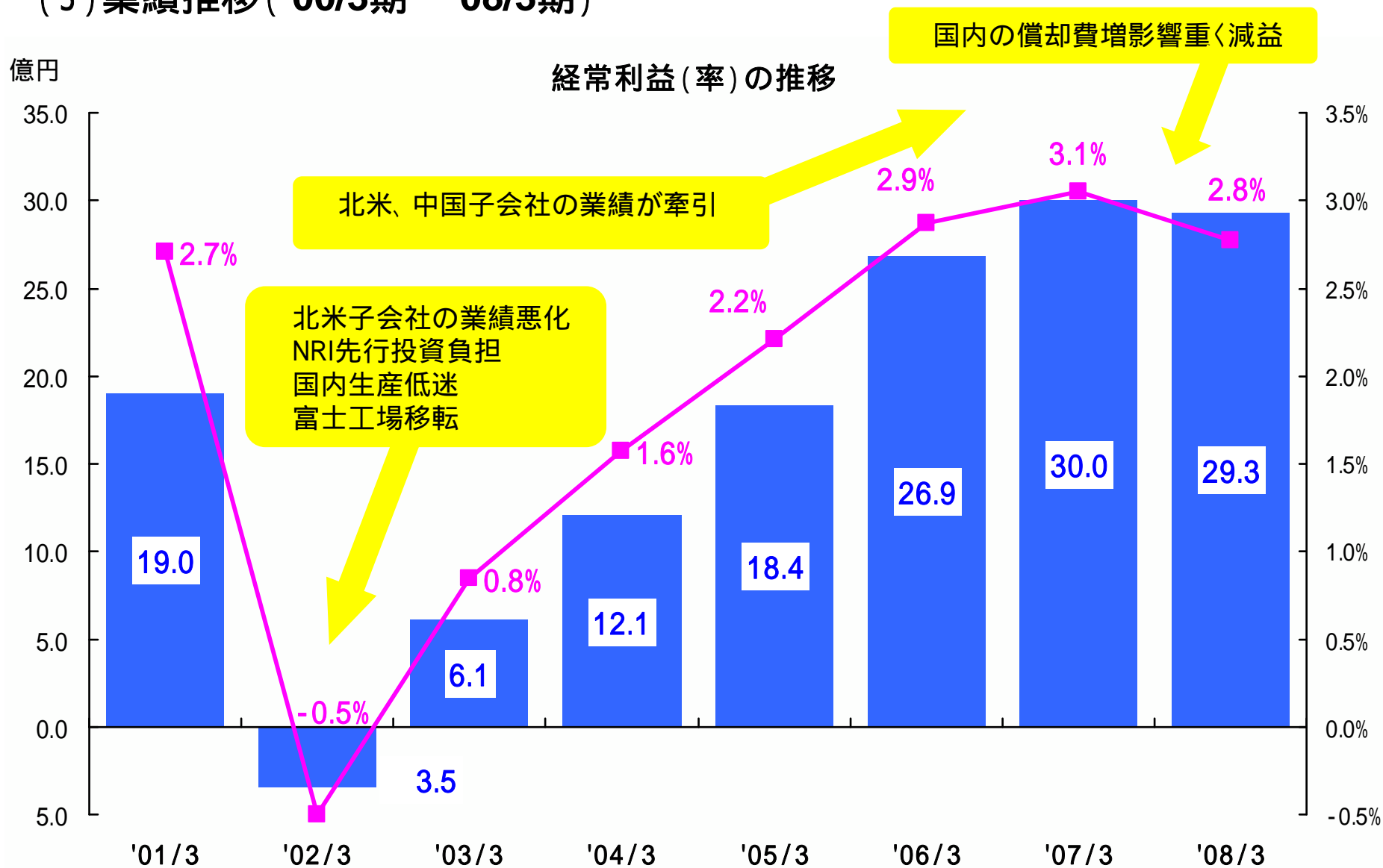
期初中計に対し、  
単年度黒字化を2年前倒し



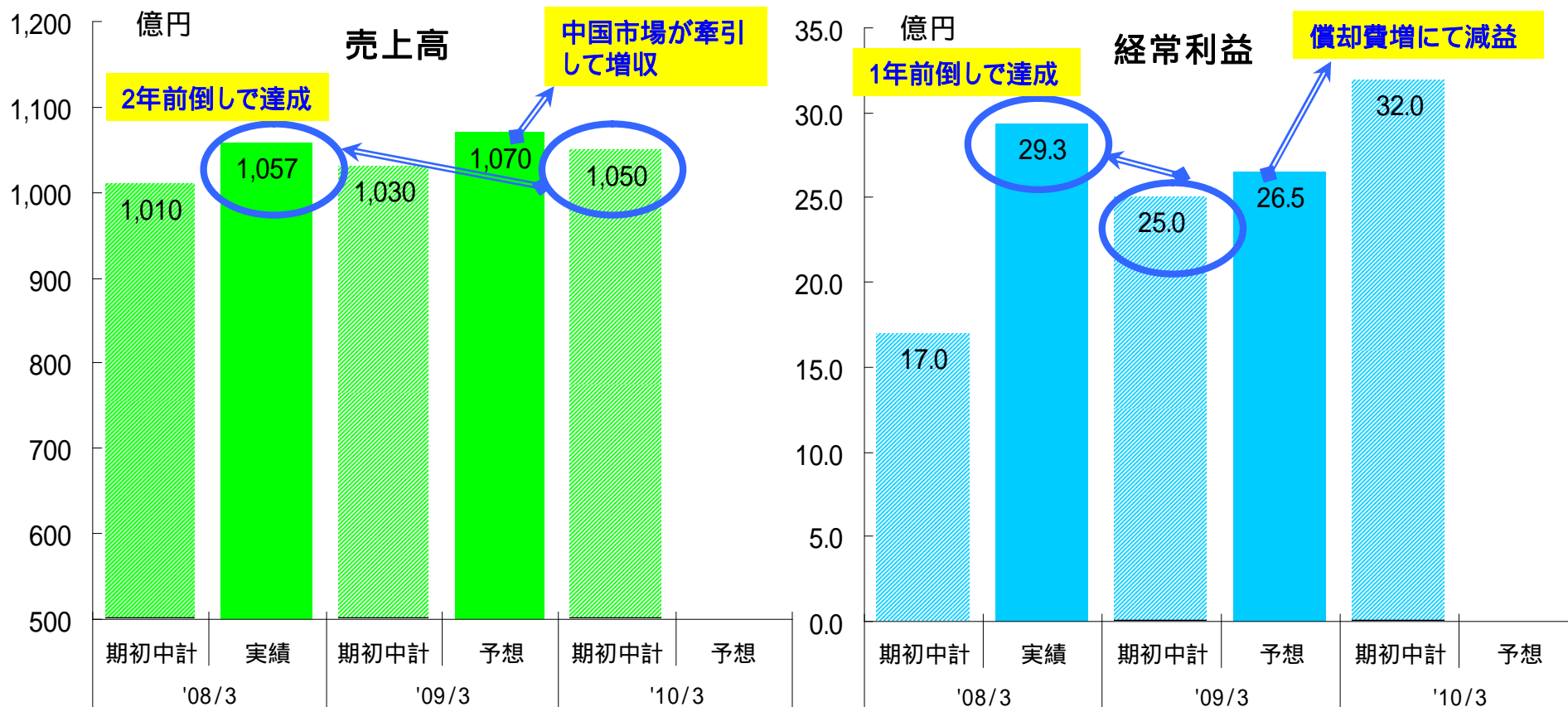
(3) 業績推移 ('00/3期 ~ '08/3期)



(3) 業績推移 ('00/3期 ~ '08/3期)



(4) '07 ~ '09 中期収益計画の進捗



'08 / 3期は、売上高・経常利益ともに期初中計目標を前倒して達成

中期の収益見通しが上振れ傾向であることと、ホンダの中計Termとの同期化を図るために、中計を見直す(今年夏を目処に策定)

(5) 商品開発戦略(最近の開発商品)

本田 インスパイア ('08モデル)

日産 ムラ - ノ ('08モデル)

日産 インフィニティ FX45 ('08モデル)

日産 インフィニティ EX35 ('08モデル)

(5) 商品開発戦略(最近の開発商品)

'08 インスパイア



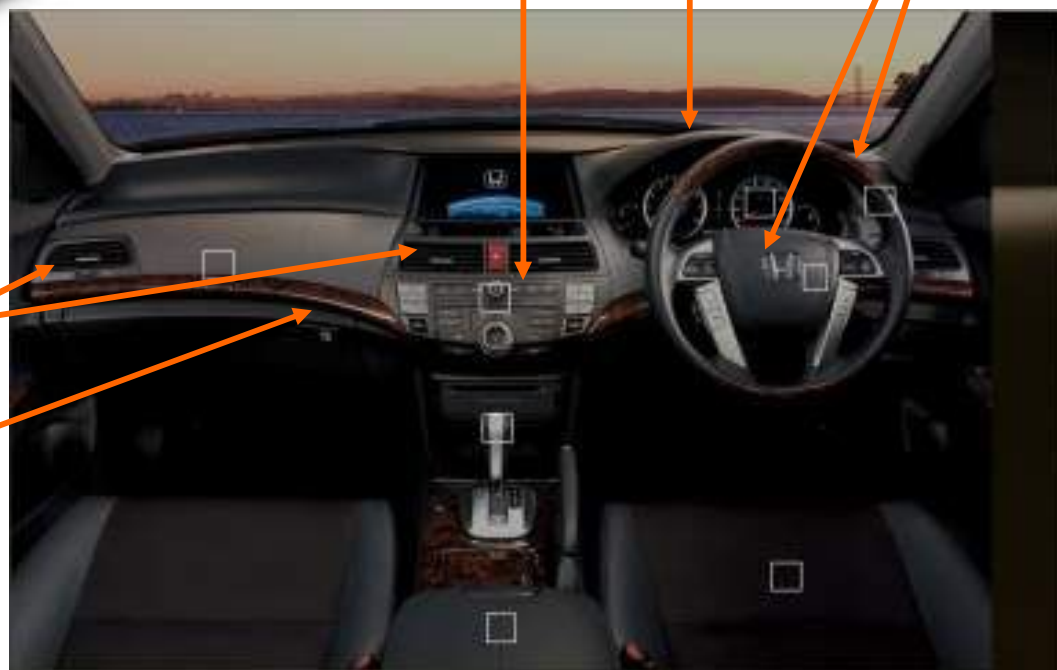
ステアリングホイール  
ドライバーエアバッグモジュール

センターパネル

バイザーメーター

エアアウトレット

グローブボックス



(5) 商品開発戦略(最近の開発商品)

'08 ムラノ



内装トリム



カバーカウルトップ



カーテン  
エアバッグモジュール

ベンチレーター&ダクト



ステアリングホイール

ドライバーエアバッグモジュール



アシストエアバッグモジュール

(5) 商品開発戦略(最近の開発商品)

'08 FX45



サイドエアバッグモジュール

カーテンエアバッグモジュール



ドライバーエアバッグモジュール

ベンチレター



ステアリングホイール

カバーカウルトップ  
エンジンカバー



フェンダーカバー

(5) 商品開発戦略(最近の開発商品)

'08 EX35

サイドエアバッグモジュール

カーテンエアバッグモジュール



ドライバーエアバッグモジュール

カバーカウルトップ  
エンジンカバー

ステアリングホイール

ベンチレーター



フェンダーカバー



## 最後に

今年、会社創立60周年という節目の年を迎えるにあたり、長期ビジョンに掲げた経営目標の早期実現により、新たな飛躍を目指す。

そのために

- (1) 顧客からの信頼と期待に応えるために、当社の得意とする安全部品技術と樹脂部品技術の更なる進化に注力してゆく。
- (2) グロ - バルでの成長戦略を具現化するために、引き続き海外事業展開に注力してゆく。